

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	防府市なかよし園		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 18日		～ R6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 16
○従業員評価実施期間	R6年 11月 18日		～ R6年 11月 29日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園の周囲が山や畑に囲まれて自然の中で伸び伸びと活動ができます。	・自然を生かして近隣周囲の散歩を取り入れています。	・近隣地域のみだけでなく、市内外のイベントや社会資源等の情報収集をし、それらを可能な限り活用することで環境変化への柔軟な対応力が身につくような支援を行っていきたいと思います。
2	・集団活動で市内の公園や文化財、神社、公共施設等の社会資源を利用しています。	・社会性の自立を目標として、近隣のコンビニやスーパー・弁当屋さん等におやつや弁当購入の活動を取り入れています。品物を自分で選択し、レジで現金の支払いを行い店員さんとのコミュニケーションを図るようにしています。	・個別の課題を明確化し買い物活動が本人にとって意味のあるもの、達成感や満足感を得られるような活動内容を取り入れていきたいと思っています。
3	・同施設に児童発達支援もあり、未就学の時から放デイ職員と面識があり、未就学から放デイへの移行時、子どもが馴染みやすい。	・未就学の頃から日常の行動を確認したり、利用に向けて職員間で情報共有をしています。	・場所慣れのために、児童発達支援の職員と協力し、放デイの建物への見学などを積極的に取り入れよりスムーズな移行に繋がれると良いと思います。
4	・支援学校の児も多く、必要に応じて担任の先生と情報共有をしています。	・必要に応じ、学校、ご家庭、事業所で支援の統一を図れるよう、保護者との情報共有も積極的に行っています。	・今後もご家庭や学校の様子を伺いながら、子どもが安心して過ごせる場所であるよう、情報共有を密にしたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子ども身体の成長につれ、建物の狭さを感じます。	・元々あった建物を改築して使用している為、広げる事が難しかったと考えています。	・活動内容によって場所を変えたり、気候の良いシーズンは外での活動を増やし、気分転換にも繋げていく必要があります。 ・今後もワンフロアの良さを活かせる活動内容を考えて行く必要があります。 ・増築や建て替えなどが必要です。
2	・地域交流が不十分と感じています。	・コロナ禍であったということ、人員不足であるということが要因と考えています。	・現在の自分たち出来る事・出来ない事を全職員が考え、共通認識する必要があると思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 防府市なかよし園

公表日 年月日

利用児童数 年月日

回収数

	チェック項目					ご意見	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	6	1		・限られたスペースの中で個室を作るなど対応してくださっていますが、大きなお子様もいるので、もっと建物が大きい方が理想ではあります。 ・人数や活動内容によっては、十分とは言えない気がします。	・お子様の身体の成長もあり、手狭に感じる事もありますが、今後も療育内容によっては児童のプレイルームを使用したり、園庭や屋外での活動を取り入れたりして工夫をして参ります。 ・衝立や机等でフロアーを仕切り、クールダウンの空間を用意して対応しています。 ・限られたスペースでの活動は十分とは行きませんが、現状を鑑み柔軟に対応していこうと思います。 ・気候の良い時は外出して狭い空間から広い空間で過ごせる時間を増やせれば良いと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3				・研修等に積極的に参加して専門性を高めながら子供の特性に合わせた支援に取り組めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1				・玄関先及び、なかよし園駐車場まではスロープを設置しその後は坂道なので児童の建物や園庭への移動は車椅子等でもスムーズに行えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					今後も清潔を保ちながら、内容に応じて場所を考慮しながら取り組んで参ります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					今後も一人一人の特性に応じた支援を提供できる様、研鑽に励んで参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					今後も支援プログラムを基に支援を行って参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					・今後もお子様の成長を保護者様と共にお手伝いできる様、計画を作成して参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			2		ご本人の状態に応じて支援計画を作成させて頂いていますが、疑問点や相違点などございましたらお気軽にお伝えいただき、計画の参考にさせて頂きたいと思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					今後も計画を基にお子様の成長にあった支援の提供を心がけて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				・お子様の興味関心を広げられるよう、支援員それぞれの個性を生かしながら、活動プログラムを立てて参ります。また、四季や季節の行事も大切にしたいと考えています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		10	6			・実施できていないのが現状です。 ・情報を集めて地域の行動などに参加出来たり計画をしてみます。 ・社会教育課や他の児童館との交流の企画があれば検討したいと思います。 ・時間的な課題もありますが、今後は交流会等の実施について前向きに取り組めます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				・支援内容や利用者負担について説明をしていますが、問い合わせ等があれば具体的に説明し理解を頂けるよう対応します。	

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				今後も誰の為に計画なのかを見失ことなく、保護者様と共に進めて行くことが出来ればと考えております。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15		1		ペアレントトレーニングの実施はありませんが、今後も情報の発信をして参りたいと思います。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16				・今後も情報共有を密にし、お子様の成長を共に支える事が出来ればと思います。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			保護者会や支援計画などで兄弟児についての相談もお話を聞いて頂けるのでありがたいです。	・今後もご希望の際にはご相談に応じさせていただきます。お気軽におっしゃって頂ける雰囲気、関係作りを心がけて参ります。また、ご家庭での情報を共有しながら連携して支援して参ります。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				ご本人や保護者様の気持ちに寄り添えるよう意識して参ります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1		1	・保護者様同士の交流のきっかけとなるよう、今後も保護者会や行事等の開催をして参ります。 ・参加しやすい茶話会などを開催して保護者同士の連携が深まるよう支援します。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1		・今後も保護者様の信頼を損なう事が無い様、苦情を受け付けた際には迅速に対応して参ります。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				・今後も保護者様との情報伝達を密にし、お子様の成長を共に支えて参ります。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13		3		・毎月園だよりを発行し、各家庭に配布しております。 ・年に一度の自己評価の結果は保護者に配布したり、ホームページ等で公表したりしています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15		1		・個人情報に関しては、定期的に行動基準及び倫理綱領の読み合わせにて、個々が意識できる様取り組んでいます。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16				いざという時に慌てず行動出来る様、日頃出来る訓練を実施して参ります。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15		1		・毎月避難訓練を実施しています。数年前から引き渡し訓練も実施するようになり、訓練の大切さを実感している所です。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				職員一同、安全の確保を日々意識しながら支援に当たって参ります。
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	お子様の怪我に関しては迅速に対応しているつもりですが、今後の支援に活かす為にも、ご不明点や気になる点などはお気軽におっしゃって頂ければと思います。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				これからも、お子様にとって安心できる場所であり続けられる様、お子様との信頼関係を築いて参ります。

満足度	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	12	4	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いても答えてくれないのでわからない ・週一度の通所ですが、なかよし園でしか会えないお友達もいるため楽しく通えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しめているかを常に意識し、日頃の様子をお伝えして参ります。 ・ワンフロアで多学年が過ごすことで色々なお友達との触れ合いがあります。今後も支援員が介入しながら、お子様同士の繋がり広がるよう支援して参ります。 ・登園するのを楽しみにしてもらえようように活動内容などを検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子様や保護者様との信頼関係を構築しながら、より良い支援を提供できる様、研鑽に励んで参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			年 月 日	
防府市なかよし園						
	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	どちらでもない	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	3	・ 児発の建物と放デイの建物を活動内容によって使い分けています。 ・ 情緒不安定な利用児に対してクールダウンできるように衝立等を使って個別のスペースを確保しています。	・ 限られたスペース・人員ですが、活動内容等、状況を鑑み対応していきたいです。 ・ 限られたスペースではあるが、個室が確保できる様工夫していきます。 ・ 子どもの特性を見ながら、屋内だけではなく屋外でも活動が出来るように取り組んでいます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	1		・ 支援する職員の配置数は適切ですが、利用児の人数や特性に対し支援困難な場合もあります。職員個々のスキルアップを目指し、子供の特性を踏まえた支援を提供できる様、研鑽に務めたいと思います。 ・ 送迎車専属の運転手が確保できれば支援員が療育に集中できると考えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		・ トイレが男女共用になっている為、衝立を利用して区分しています。	・ 複数人のトイレが重なった時不便を感じる為で時間などで声掛け誘導し重ならないように支援しています。 ・ スロープなど設置し移動がスムーズにできるようにしています。 ・ 玄関からの上がり框の段差をなくし室内への移動がスムーズにできるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		2	・ 限られた空間でついで等を使用し、空間づくりをしています。消毒は毎日、児童が帰られた後に実施しています。 ・ 整理整頓を心掛け、活動しやすい空間づくりに努めています。	・ 中、高生の利用児には少し狭いと感じることもありますが、ワンフロアの良さもある為、それを活かしながら活動時間をずらすなどの工夫を続けて参ります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		1	・ 狭いスペースなりに、子ども一人一人が居心地の良い場所で活動が出来るように仕切りをしたり、机の配置等を工夫しています。 ・ 必要に応じてクールダウンできる場所を使用しています。 ・ 個室はないが、パテーションで区切って、個別の場所を作っています。	・ 狭い空間ながらも、都度パテーション等で区切ることで個別の空間を作っています。完全個室は難しい所ですが、出来るだけお子様の助けになる空間を提供して参ります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2			・ 毎日、朝礼時業務内容や支援内容について振り返りをして職員全員で検討し改善に繋がっています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				・ アンケート等で得た意見を職員間で共有し、業務改善に繋がっていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			・ 朝会や準備をしながら等、時間を工夫して行っています。 ・ 毎日の朝礼や職員会議等で意見交換をしながら必要に応じて業務改善を行っています。	・ 会議だけでなく、日頃の何気ない会話などからも職員の意見を拾い上げて行くことを心がけて参ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	5		・ 現在第三者外部評価は行っていません。必要と判断された場合はすみやかに実施できる様、体制を整える必要があると考えています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				・ 様々な研修参加の機会を設けています。今後も、様々な研修への参加ができるよう、機会を確保したいと思っています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			・ 支援プログラムについてはホームページに記載したり、玄関に掲示や個別支援計画にも記述しています。	・ 今後も保護者様には計画説明時にお伝えすることを心掛けて参ります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1			・ 保護者の方からのニーズや課題、職員が感じる課題を抽出しながら、今後も計画を作成していきます。

適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			・会議で共有して検討しています。 ・支援会議やケース会議等で、全職員が常に子どもの利益を最重点に意見を述べ、共通理解を得た上で計画作成を行っています。	今後も職員間で共通理解を図りながら計画作成を進めて参ります。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			・職員全員が共通認識を持つように、振り返りなどを行うようにしています。 ・会議を通して計画内容の確認を行っています。欠席者に対しては資料の回覧を行い、共通認識出来る様努めています。	・今後も計画に沿った支援を行う事が出来る様、共通認識しながら現場でも必要に応じて協議し進めて参ります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		・ほのぼののソフトの中のアセスメント評価表を利用し日々の行動観察を含むアセスメントを行っています。	・職員全員がアセスメントの共通認識と理解に努めています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			・移行支援としては、送迎時に自宅の鍵を管理出来るようになる為の支援や、活動に買い物を取り入れることで、お金の管理について支援を行っています。 ・保護者の不安や悩み等に対して相談を受けたり、メンター相談会の紹介など行っています。	・移行支援、地域支援、地域連携に関しては、今後関係機関等との連携を行いながら力を入れて行く必要があると思います。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		・利用者のリクエストを取り入れたり職員全員に意見を聞いて楽しめる内容になるよう工夫しています。	・立案した人が全部考えるのではなく、チーム全員でアイデアを出し合い活動内容を分担してより良いプログラムを提供していきたいと思っています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		・常に季節が感じられるような活動内容を取り入れています。	・ネット等を駆使しながら固定化しないようチームで検討してプログラムを作ることも取り入れながら、固定化を防げるよう取り組みたいと思います。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2			・今後も子どもの状況に応じた活動内容を計画していきたいと思っています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			・朝のミーティングで必ず当日の活動内容を確認すると共に役割分担をしています。	・朝のミーティングで支援内容や役割などについて情報共有を継続していきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		・翌日の朝のミーティングで行っています。	・学校休業日については、終礼時に振り返りをおこなっていますが、学校通常時は翌朝にミーティングを行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		・支援内容の日々の記録等、業務の職員もきちんと共有しています。	・日々の支援記録をきちんと取ることを各自意識し、検証や改善に繋げていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2			・定期的にモニタリングを行い、子どもの成長に合わせた計画を作成できる様取り組みます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	4			・ガイドラインを定期的に見直しながら支援を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			・個別課題等については、いくつかの選択肢の中から本人が選択できるようにしています。 ・近隣のスーパー等に行き、おやつや弁当を買いに行き、自分で選択肢購入する機会を設けています。 ・活動中、選択等を取り入れて、自己決定が育つように工夫しています。	・今後もお子様が自己決定の力が育つよう工夫して参ります。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3			・担当業務に差し支えない範囲で必要と判断した際には担当職員も同席し、会議の内容を職務に反映できるようにしたいと思っています。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		・医療機関との連携については直接行っていません。鼻腔からの吸引については保護者を通して医師の指示書を頂くようにしています。	・今後、必要に応じて連携を図っていくように努めます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			・ホームページや保護者から情報を頂き、変更などに対応しています。	・送迎時等、学校の先生方と情報共有をし、臨機応変に対応していきたいと思っています。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3		・同法人の児童との情報共有や相互理解するようにしています。	・関係機関との良好な関係を築き随時、情報共有と相互理解に努めます。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	1		・情報を提供できる体制づくりに努めます。

関係機関や保

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		・発達障害者支援センター等の講師派遣事業を利用し定期的な助言などを受けられるような機会を設けていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		2	7	・今後検討していけたらと思います。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		1	・協議会の中の子ども発達部会や研修部会へ積極的に参加しています。 ・今後も積極的に参加してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・お迎え時や連絡帳を通じて行っています。 ・送迎時や連絡帳を、必要に応じて電話での連絡をし、共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		・ペアレントメンター相談会への参加を促したり講演会への参加を進めています。 ・ペアレントトレーニングは行っていませんが、必要に応じて助言等の支援を行っていくように努めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			・契約時には必ず説明を行っています。 ・今後も契約時、プラン説明時等時間を取り保護者に納得していただけるように説明をして参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・保護者の思いや本人の思いを常に聞き取るようにしています。 ・今後も子どもの意向を常に意識し、保護者には送迎や計画説明時を利用しながら意向を確認して参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			・計画を丁寧に説明しながら、保護者の質問にもその都度対応しています。 ・今後も丁寧な説明を心掛けながら対応して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・送迎時や連絡帳、プラン説明時などに気楽に相談してもらえるような雰囲気作りを努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		4	・保護者会を毎年実施しています。兄弟間の交流はまだ出来ていません。 ・父母の会は行っていませんが、行事などを通じて茶話会の機会を設けたりしています。 ・兄弟で利用する火を設定したりと工夫しています。 ・兄弟同士での交流はしていない様思う。 ・きょうだい同士で交流する機会は、今後検討していく必要があると感じています。 ・保護者会や茶話会など、保護者同士の交流の場を可能な限り設けられるよう努めて参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			苦情を受け付けた際には真摯に受け止め、迅速な対応と信頼回復に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			・毎月園だよりでお伝えしています。 ・園だよりを通じて、様々な情報を発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			・個人情報ファイルの持ち出しを禁止しています。 ・個人情報の取扱いには十分に注意し、信頼を損なうことが無い様努めます。内部研修で倫理綱領や行動基準の読み合わせをし意識を高めて参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・絵カードや連絡帳を利用 ・子どもに合った意思疎通方法を使用し、臨機応変に対応していきます。保護者の方とも、連絡帳や送迎時等を利用し、意思疎通、情報伝達をして参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	2	・まりふ祭りに参加している ・ふれあい芸術展への参加やまりふまつり等を行っている。 ・参加いただける行事の周知に努めて参ります。
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		・職員は勿論、保護者へのしゅうちにも努めていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・毎月避難訓練を実施しています。 ・年1回引き渡し訓練を実施しています。 ・避難訓練、引き渡し訓練を実施し、災害時に備えて参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			・保護者から情報についての確認を取るよう心がけています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	1	・現在アレルギーのある子どもは在籍していないがおやつや調理実習の時は持参して頂くようにしています。 ・対象児がご利用になられた時は、適切に対応して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			定期定期に火災、土砂、地震、不審者に対する避難訓練などを行っています。

時
等
の
対
応

51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		2	・避難訓練や引き渡し訓練、台風、積雪については伝えていますが、園全体の安全計画についての周知は十分とは言えません。保護者に紙面等で周知していくよう努めます。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・ヒヤリハットや事故報告が上がった際には朝ミーティングや終礼で周知し、今後の対応について検討し事故に繋がらないように職員に周知徹底していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・3ヶ月毎に人権・虐待セルフチェックを行い上司に提出し自身を振り返るようにしています。 ・虐待防止の為の外部研修参加や、内部研修の倫理綱領、行動基準の読み合わせ、虐待研修定期的に実施し、意識を高めて参ります。4ヶ月に1回のセルフチェックも継続実施します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			・できる限り身体拘束を行わないようにしていますが、支援計画を説明する時点で保護者に理解して頂くように説明しています。実施した場合は支援記録に掲載しています。 ・身体拘束の可能性がある場合は事前に保護者への説明、了解を得る事を徹底致します。計画、ケース記録に記載をし拘束時間が少しでも短くなるよう努めます。